

次期富山県がん対策推進計画のロジックモデル（案）

I 予防の強化と早期発見の推進

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値	
D101	がんにかからない生活習慣の確立	子どもの頃から正しい知識の普及	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	5.0%	-	増加
D102		ボランティア団体等の協力によるがんを含む健康に関する正しい知識の普及啓発の推進	がん予防推進員数	763人	-	-
D103			がん対策推進員数	4,829人	-	-
D104		たばこ対策の充実、強化	禁煙外来を行っている医療機関数	14.9施設	12.7施設	-
D105		肝炎ウイルス検査体制の充実やウイルス陽性者の受診勧奨、普及啓発を引き続き推進	肝炎医療コーディネーターの養成者数	123人	-	150人
D106		HPVワクチン接種の普及啓発及び推進	HPVワクチンの実施率	-	-	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値	
C101	食塩摂取量の減少	成人1日あたりの食塩摂取量の平均値	男性	12.1g	10.9g	
			女性	10.3g	9.3g	
C102	野菜摂取量の増加	成人1日あたりの野菜摂取量の平均値	男性	256.5g	280.5g	
C103	日常生活における歩数の増加	1日の歩数の平均値 ①20～64歳	男性	-	7,864歩	
			女性	-	6,685歩	
			男性	-	5,396歩	
			女性	-	4,656歩	
C104	運動習慣者の増加	運動習慣者の割合	男性	35.3%	33.4%	
C105	生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の減少	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	男性	16.0%	14.9%	
			女性	6.3%	9.1%	
C106	20歳以上の者の喫煙率		男性	27.3%	27.1%	
			女性	4.6%	7.6%	
C107	喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	未成年者の喫煙率（高校3年生）	男性	-	3.1%	
			女性	-	1.3%	
C108		ニコチン依存管理料を算定する患者数（人口10万対）	94.1件	99.6件	-	
C109	望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	受動喫煙の機会を有する者の割合（a）	行政機関	0.0%	4.1%	
			医療機関	-	-	
			職場	10.8%	20.1%	
			家庭	-	-	
		受動喫煙の機会を有する者の割合（b）	行政機関	10.7%	4.1%	
			医療機関	-	2.9%	
			職場	26.1%	26.1%	
			家庭	7.8%	6.9%	
C110	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率の増加	B型・C型肝炎ウイルス検査受検率	9.4%	-	13%	

※今年度策定の県健康増進計画（第3次）で検討中

※今年度策定の県健康増進計画（第3次）で検討中

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
-	がんの早期発見体制の強化	がん検診受診普及啓発	-	-	-
-		効果的検診手法等の普及	-	-	-
D107		指針に基づく精度の高いがん検診を行うための精度管理・事業評価の実施の推進	指針に基づくがん検診実施市町村数	15市町村	-
D108		事業評価実施市町村数	15市町村	-	全市町村

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値	
C111	検診受診率の向上	検診受診率	胃がん	47.6%	41.9%	60%
			肺がん	58.1%	49.7%	
			大腸がん	52.1%	45.9%	
			乳がん	52.5%	47.4%	
			子宮がん	47.7%	43.6%	
C112	精密検査受診率の向上	精密検査受診率	胃がん	95.2%	85.9%	90%
			肺がん	90.7%	82.7%	
			大腸がん	78.2%	68.6%	
			乳がん	93.0%	90.1%	
			子宮がん	83.8%	76.6%	

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	県	国	目標値	
B101	がん種別罹患率減少（胃・大腸・肺・肝・乳房・子宮）	がん種別年齢調整罹患率（胃・大腸・肺・肝・乳房・子宮）	胃がん（男性）	78.9	63.4	減少
			胃がん（女性）	29.3	23.1	
			肺がん（男性）	63.4	61.9	
			肺がん（女性）	24.6	26.1	
			大腸がん（男性）	74.7	73.2	
			大腸がん（女性）	43.8	44.9	
			肝がん（男性）	18.1	19.0	
			肝がん（女性）	5.2	6.0	
			乳がん	103.4	100.5	
			子宮がん	35.1	34.3	

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	県	国	目標値	
A101	がんの年齢調整罹患率減少	がんの年齢調整罹患率（全がん）	男性	474.3	445.7	減少
			女性	356.3	346.7	
A102	がんの年齢調整死亡率減少	がんの年齢調整死亡率（全がん）（75歳未満）	男性	79.1	82.4	減少
			女性	50.2	53.6	

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	県	国	目標値	
B102	検診がん種の早期がん割合の増加	検診がん種別早期がん割合	胃がん	58.4%	59.6%	増加
			肺がん	37.6%	35.4%	
			大腸がん	47.8%	47.6%	
			乳がん	64.5%	60.5%	
			子宮がん	59.5%	57.4%	

	現行計画から新たに追加する指標
	現行計画から変更する指標

II 質の高い医療の確保

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D 201	富山県内の医療提供体制の強化 拠点病院を核とした専門的・機能的ながん医療体制ネットワークの充実・強化	がん診療連携拠点病院等の数(人口10万対)	1.0施設	0.4施設	-
D 202		がん情報の収集・発信、医療従事者等を対象とする研修会を開催した拠点病院数	10施設	-	全拠点病院
D 203		5大がんの地域連携クリティカルバスの運用件数	146件	-	-

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D 204	手術療法、放射線療法、薬物療法、支持療法の更なる充実とチーム医療の推進	がん治療認定医師数(人口10万対)	13.0人	14.4人	-
D 205		放射線治療専門医師数(人口10万対)	1.0人	1.1人	-
D 206		がん薬物療法専門医師数(人口10万対)	1.3人	1.2人	-
D 207		がん専門薬剤師数(人口10万対)	0.9人	0.6人	-
D 208		がん医療関連チーム数	70チーム	-	-

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D 209	チーム医療推進のための研修会の開催 がん看護に携わる看護師の育成・確保 がん医療に専門的に携わる医療従事者の研修会参加の促進	研修会開催拠点病院数	7施設	-	全拠点病院
D 210		がん分野の認定看護師数	95人	5,928人	増加
D 211		研修会開催拠点病院数	9施設	-	全拠点病院

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D 212	がんゲノム医療 「がんゲノム医療中核拠点病院」と本県の拠点病院との連携構築	がんゲノム医療拠点病院等の数	0.2施設	0.2施設	-

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D 213	緩和ケアの提供体制 緩和ケア研修会 緩和ケア研修会の更なる推進	緩和ケア病棟を有する病院数(人口10万対)	0.6施設	0.4施設	-
D 214		緩和ケア研修修了者数(年間)(医師)	117人	-	-
D 215		緩和ケア研修修了者数(年間)(コメディカル)	72人	-	-

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D 215	妊産性温存療法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供体制の充実 妊産性温存療法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供体制の推進	がん・生殖医療ネットワークの構成員数(医療機関・関係団体)	12施設	-	増加

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D 216	がん登録の推進 引き続き、質の高い情報収集に資する精度管理に取り組む	全国がん登録の精度指標としてのMI比	0.36	0.38	0.4~0.45
D 217		全国がん登録の精度指標としての%DCO	2.2%	1.9%	10%以下
D 217	臨床研究の推進	臨床研究に協力している拠点病院数	10施設	-	全拠点病院

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C 201	患者に対するセカンドオピニオンの提示などの提供体制の推進	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	33.5%	34.8%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C 202	手術療法、放射線療法、薬物療法、支持療法の更なる充実とチーム医療の推進	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数(人口10万対)	11027.1件	10553.8件	-
C 203		悪性腫瘍手術の実施件数(人口10万対)	54.1件	46.2件	-
C 204		放射線治療の実施件数(人口10万対)	134.6件	158.4件	-
C 205		外来化学療法の実施件数(人口10万対)	309.8件	240.2件	-
C 206		がんリハビリテーションの実施件数(人口10万対)	431.6件	335.4件	-
C 207		術中迅速病理組織標本の作製件数(人口10万対)	132.1件	121.9~122.0件	-
C 208		病理組織標本の作製件数(人口10万対)	1650.2件	1474.1件	-
C 209		主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	44.2%	48.8%	増加
C 210		医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	67.0%	68.8%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C 211	がんゲノム医療へのアクセス向上 がんゲノム医療へのアクセス向上	がんゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っていると感じた割合	10.8%	18.3%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C 212	地域の医療機関と連携した、在宅を含めた地域における緩和ケア提供体制の整備を推進 在宅緩和ケア地域連携クリティカルバスの効果的な運用の推進 がん患者が、医療者に苦痛の表出ができること	緩和ケアチームによる介入患者数	106.0件	77.9件	-
C 213		緩和ケア外来利用患者数	4520件	-	増加
C 214		在宅緩和ケア地域連携クリティカルバス利用患者数	102件	-	増加
C 215		身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合	41.0%	45.6%	増加
C 216		心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	22.4%	31.9%	増加
C 217		がんが診断されてから病状や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	70.6%	76.5%	増加
C 218		家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	38.2%	47.1%	増加
C 219		医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	71.1%	71.7%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C 220	がん患者が生殖機能への影響についての情報提供を受け、納得できる意思決定ができること	がん相談支援センターにおける「妊産性・生殖機能」に関する相談件数	8件	-	増加
C 221	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	79.5%	51.6%	増加

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	県	国	目標値
B 201	全国的ながん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価(平均点または評価が高い割合)	70.6%	71.2%	増加
B 202	(標準的な)診断・医療の進歩	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	71.7%	76.3%	増加
B 203	治療選択についての情報提供の充実(必要な情報へのアクセス改善)	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.0%	75.2%	増加

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	県	国	目標値	
A 102	がんの死亡率の減少	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	男性	79.1	82.4	減少
			女性	50.2	53.6	
A 201	がんの生存率の向上	がん種別5年生存率	65.5%	66.2%	増加	

	現行計画から新たに追加する指標
	現行計画から変更する指標

III 患者支援体制の充実

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D301	相談支援の充実	患者とその家族に必要な正しい情報を提供する体制の充実	-	-	全拠点病院
D302		拠点病院における診療実績等の情報の公表	10施設	-	全拠点病院

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D303	在宅療養支援体制・地域緩和ケアの充実	訪問診療を実施している診療所・病院数(人口10万対)	24.3施設	12.5~12.9施設	増加
D304		訪問看護ステーションに就労する看護師数(人口10万対)	46.1人	59.9人	65.7人(R8) 67.4人(R11)
D305		24時間体制の訪問看護ステーション届出割合	89.7%	-	100%
D306		在宅末期医療総合診療科届出施設数	5.4施設	10.2施設	-
D307		医療用麻薬が医療機関と訪問看護ステーション等の連携により使用される体制の充実	麻薬処方診療所等の数	56施設	-

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D308	就労支援について	相談支援センターとハローワーク等との連携体制の強化(拠点病院へのハローワーク専門相談員の派遣病院数)	2施設	-	全拠点病院
D309		がんになっても安心して働き暮らせる社会を構築するため、関係機関や関係団体等と協力したがん患者の仕事と治療の両立の支援	2.8人	1.5人	増加
D310		両立支援コーディネーター研修修了者数(人口10万対)	2.6人	3.6人	増加

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D311	アピアランスケアについて	拠点病院等を中心としたアピアランスケアに係る相談支援・情報提供体制の構築	4.4人	1.4人	増加

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D312	がん患者の活動支援	ピア・サポーター数	124人	-	155人
D313		ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数	64回	-	増加

#	個別施策	アウトプット指標	県	国	目標値
D314	ライフステージに応じたがん対策の充実	小児がん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるよう、小児がん拠点病院や地域の医療機関等との連携	0.1施設	-	-
D315		高齢のがん患者が適切な意思決定に基づき治療を受けられるよう、高齢のがん患者やその家族等の意思決定支援に係る取組を推進	-	-	全拠点病院

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C301	患者とその家族の悩みや不安にきめ細かく対応するための、より活用しやすい相談支援体制の充実	県総合相談支援センター・拠点病院の相談支援センターにおける相談件数	7,373件	-	増加
C302	がん相談支援センターの認知度	がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	62.9%	66.9%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C303	がん患者が住み慣れた家庭や地域での療養や生活を選択できるよう関係機関の連携強化	退院時カンファレンス実施数	937件	-	増加
C304		在宅がん医療総合診療科の算定件数	9.3~10.0件	27.3~27.6件	-

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C305	がん患者・経験者の両立支援・就労支援に関する相談・支援体制へのアクセスの向上	県がん総合相談支援センター・拠点病院の相談支援センターでの相談件数	163件	-	増加
C306	診断時からの情報提供	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	30.9%	38.6%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C307	拠点病院等を中心としたアピアランスケアに係る相談支援・情報提供体制の構築	県がん総合相談支援センター・拠点病院の相談支援センターでのアピアランスに関する相談件数	294件	-	増加
C308	アピアランスケアに関する相談支援の利用	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合	29.2%	28.5%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C309	ピアサポーターの認知度	ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	32.6%	27.5%	増加

#	中間アウトカム	中間アウトカム指標	県	国	目標値
C310	県がん総合相談支援センター・拠点病院等の小児・AYA世代の相談支援の充実	県がん総合相談支援センター・拠点病院の相談支援センターでの小児・AYA世代からの相談件数	244件	-	増加

#	分野別アウトカム	分野別アウトカム指標	県	国	目標値
B301	がん患者の家族が、悩みや負担を相談できること	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感しているがん患者・家族の割合	38.2%	47.1%	増加
B302	がん患者が、治療に関する十分な情報を得ることができること	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.0%	75.2%	増加
B303	がんが診断されてから相談することができること	がんが診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	70.6%	76.5%	増加

#	最終アウトカム	最終アウトカム指標	県	国	目標値
A301	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	67.0%	70.1%	増加

	現行計画から新たに追加する指標
	現行計画から変更する指標